

PC & ネットワーク社

デジタルコンバージェンスの世界では、AV コンテンツを含むすべての情報をデジタル化し、共通のプラットフォームで統合的に通信・処理・蓄積できるようになります。そうすることによって、かつてモバイルパソコン(PC)がデータ情報をオフィスから解放したように、AV コンテンツを放送スケジュールやリビングルームといった時間と空間の制約から解放し、人間が自由自在に楽しむことが可能になります。また、数や種類がどんどん増え続ける AV コンテンツを自分の好みに合わせて整理することも容易になり、見たいコンテンツを即座に取り出すことが可能になります。

東芝は、こうしたデジタルコンバージェンスの世界をリードすべく、今回“AV ノート PC”という新しい商品カテゴリーを提案しました。PC アーキテクチャをベースにしながら、液晶テレビ(TV)、DVDレコーダ、オーディオといったデジタル AV 機器の機能を真に融合させ、これらデジタル AV 機器と同等、若しくはそれ以上の機能と使い勝手を実現しました。AV コンテンツがデジタル化されているため、オリジナルの持つ躍動感や感動をいつまでも色あせさせることなく、ノート PC と共に持ち歩き、“いつでも、どこでも、パーソナルに”楽しむことを可能にしました。一方、ブロードバンド化が著しい企業ネットワーク向けには IP (Internet Protocol) ビジネスコミュニケーションシステムを商品化し、企業 IP ネットワークに接続することができれば、モバイル PC からでも“いつでも、どこからでも、だれとでも”コミュニケーションすることを可能にしました。

当社は、今後も先進的な技術を取り込んだ商品を開発し、デジタルコンバージェンスがもたらす様々なメリットをいち早くお客さまに提供していきます。

統括技師長 吉田 信博

● A4 タブレット PC dynabook R10 / Satellite R10



dynabook R10
Satellite R10 A4 tablet PC

Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition と 14.1 型液晶ディスプレイ (LCD) を搭載した A4 サイズのタブレット PC, dynabook R10 / Satellite R10 を商品化した。

従来、特定企業向けの導入が主であったタブレット PC を、一般消費者市場へ拡販することを狙いとして開発した。そのため、従来 12.1 型だった LCD を 14.1 型へ拡大するとともに、光ディスクドライブも内蔵し、一般家庭のユーザーが不自由なく使える仕様とした。

ペン入力の利点を消費者にアピールするため、Microsoft® Office OneNote™ 2003 をはじめ、各種ペン対応アプリケーションをプレインストールしている。

● A4 ノート PC dynabook SS LX/L10 / PORTEGE S100



dynabook SS LX/L10
PORTEGE S100 A4 notebook PC

Intel® Centrino™ モバイル・テクノロジーと 14.1 型 LCD を搭載し、約 2.0 kg と軽量の A4 ノート型モバイル PC, dynabook SS LX/L10 / PORTEGE S100 を商品化した。通常、携帯性を重視すると性能などが犠牲になる傾向があるが、“妥協なきモバイル”をコンセプトに開発を行い、両立させた。

PC を携帯する機会が増えれば、それに伴って故障、落下事故など、様々なリスクが増加する。これに対応するため、サーバ技術の転用である RAID (Redundant Array of Inexpensive Disks) 機能や、新しく開発したショック吸収構造などを採用し、従来にない高い信頼性を実現した。

● ワイヤレスTVチューナ

AV ノート PC “Qosmio” シリーズの周辺機器として、ワイヤレス TV チューナを 2004 年 8 月に発売した。

ワイヤレス TV チューナは、高画質化 TV チューナで受信したアナログ TV 放送データを、高速ワイヤレス LAN により PC に転送する。これにより、アンテナケーブルの届かない場所でも PC で TV の視聴ができるとともに、TV チューナを搭載していない PC でも高画質 TV 映像を視聴できるようになる。また、ワイヤレス LAN アクセスポイント機能を提供することで、PC で TV 視聴をしながらのインターネットアクセスもできるようになっている。

関係論文：東芝レビュー． 59, 12, 2004, p.23 - 26.

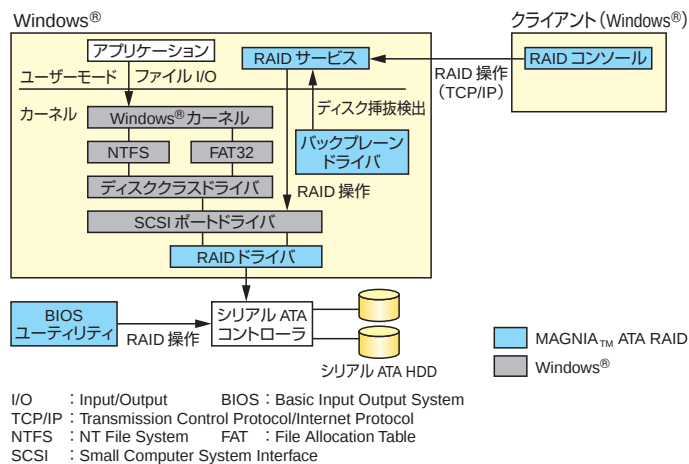


ワイヤレスTVチューナ
Wireless TV tuner

● 高信頼性ソフトウェア RAID “MAGNIA™ ATA RAID”

IA (Intel Architecture) サーバの MAGNIA™ シリーズに搭載する高信頼性ソフトウェア RAID, MAGNIA™ ATA RAID を開発した。

この RAID には新世代のシリアル ATA (AT Attachment) 磁気ディスク装置 (HDD) を 2 台接続でき、RAID レベルは RAID-0 (Striping) と RAID-1 (Mirroring) をサポートしている。また、RAID 構成の操作とエラーのログを二重化して記録する独自の機能を備えていて、HDD の障害原因を容易に特定できる。更に、これ以外にも数々の信頼性向上技術が盛り込まれている。



MAGNIA™ ATA RAID の構成
Configuration of MAGNIA™ ATA RAID

● エントリークラス高性能 IA サーバ MAGNIA™ 3400/3405R

EM64T (Extended Memory 64bit Technology) 対応の Intel® Xeon™ CPU を搭載した、エントリークラスの 2 ウェイ IA サーバ MAGNIA™ 3400/3405R を開発した。

EM64T により、32 ビット処理環境の互換性を保ちながら、64 ビット処理環境に容易に移行できる。また、上位モデルの機能であったホットスワップやミラーリングというメモリ冗長機能や、次世代 I/O の PCI (Peripheral Component Interconnect) -Express をサポートすることにより、高性能、高信頼性、高拡張性が確保されており、将来にわたっての多様なニーズに応えるエントリークラスのサーバとなっている。

関係論文：東芝レビュー． 60, 2, 2005, p.78 - 81.



MAGNIA™ 3400/3405R
MAGNIA™ 3400 (above) and MAGNIA™ 3405R (below)